

宛先：all-bear@mlist.jimu.kumamoto-u.ac.jp

この『熊大省エネニュース』は、省エネルギーに関する周知・啓発を目的として、メーリングリスト登録者宛に配信しております。

等幅フォントで調整しております

いつも、省エネにご協力いただき有難うございます。

寒い日が続いておりますが、皆さまにおかれましては如何お過ごしでしょうか。風邪などひきませぬよう、お身体をご自愛下さい。

第3号の熊大省エネニュースをお送りします。

//_/ 休暇に入る前のお願い _/_/_/

待機電力の削減については、予めからコンセントプラグを抜いて頂く等の協力をお願いしているところです。
年末年始にかけては、冬季特別有給休暇を組み合わせる等して10日以上の連続休暇を取得なさる方も多いのではないのでしょうか。
については、休暇に入る前に、コンセントプラグを可能な限り抜いて頂く等により、待機電力の削減にご協力をいただきますようよろしく願いいたします。

また、大掃除の際には照明器具(ランプ含む)及びエアコンのフィルター清掃もあわせてお願いいたします。

//_/_/_/ 寒さ対策 _/_/_/_/_/

--- WARM BIZ ---

「WARM BIZ」という言葉は、環境省が2005年8月に「秋冬のCOOL BIZ」として提唱したもので、暖房による二酸化炭素排出量の増加を抑える為に、室温を低めに設定することを呼びかけ、この室温でも快適に過ごす為の服装として「働きやすく暖かく格好良い」ビジネススタイルのイメージを分かりやすく表現したものです。

(財)省エネルギーセンターが実施した調査「着衣の工夫と体感温度等の違い」によると、

半袖肌着から長袖肌着とタイツへ変更	0.9度アップ
カーディガンの着用	2.2度アップ
ひざ掛けの使用	2.5度アップ
スカートからズボンへ変更	2.9度アップ
フリースジャケットを着用	2.2度アップ
靴下の着用とスリッパの使用	1.2度アップ

のように、体感温度の変化があるそうです。

機能性ウエアの種類も年々選択肢が増えております。
ライフスタイルに応じた選択をなさって快適な冬をお過ごし下さい。

--- 身体を温める場所 ---

皆さんは身体を温めるときに何処を温めていますか？
身体には太い血管が幾つかありますが、そこを温めると温まった血液が全身に行き届きやすくなり効果的です。
例をあげると、背中上部(肩甲骨の間)、胸元から首まわり、大腿部(特に鼠径部)です。
寒さが厳しいときは背中上部に懐炉を貼り付ける方法は効果的です。
説明書の記載に従い、低温やけどに気をつけましょう。

_/ _/ _/ _/ _/ _/ 今回のトピックです _/ _/ _/ _/ _/ _/

--- 地球温暖化対策 ---

先般、第18回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP18)が、カタールのドーハで開催され、日本政府は、温室効果ガス排出量を2020年に1990年比で25%削減するとの国際公約を取り下げない方針を11月27日に決めました。

さて、二酸化炭素が地球温暖化を加速させるとしている温室効果ガスであることは、皆さんもご存知と思いますが、この二酸化炭素排出量の90%をエネルギー起源の二酸化炭素が占めています。(非エネルギー起源の二酸化炭素は、工業プロセスの化学反応、廃棄物の焼却で発生・排出されるもの等です。)

二酸化炭素排出量は利用するエネルギー源により異なります。本学ではボイラーの燃料として重油を消費しておりますが、これを都市ガスにエネルギー転換することで約1,600トン-CO₂の削減が可能です。

話しはかわって、平成24年10月1日(月)に租税特別措置法が改正施行され、地球温暖化対策税が新たに課税されることとなりました。この税は、全化石燃料を課税ベースとする現行の石油石炭税の徴税スキームを活用し、石油石炭税に上乗せする形で課税されます。平成24年10月から3年半かけて税率を段階的に引き上げ、この税収はエネルギー起源の二酸化炭素排出抑制施策に充当されます。

本学に於いては、おおよそH24年度320万円、H25年度630万円、H28年度950万円の負担増になると試算しております。電気並びにガス等の化石燃料を起源とするエネルギー源に対し、使用料金に価格転嫁される形で供給事業者を支払うこととなります。

--- 節電と省エネルギー ---

今冬も12月3日(月)から節電期間に入りました。本学では節電と省エネルギーに対するご協力をお願いしておりますが、同様と思われる各々の違いについて説明させていただきます。

近年の節電は、東日本大震災を発端とする原子力発電所問題によって電力の供給不足となり、広域停電を回避するために始められました。節電の大きな特徴は「電力が必要であっても、電気事業者から供給を受けている電力は意識的に使用を抑制する(或いは使用しない)」です。

一方で、省エネルギーは「無駄を省く」ことです。省エネルギーの取り組みには色々な手法がありますが、最初の取っ掛かりは「何気なく使っている。」に注視することです。普段やっていることを見つめ直し、無駄に気づき、この無駄なエネルギーを省く一連の取り組みです。省く手法にも色々ありますが、中止することの他に、別の何かに置き換えることも省エネにつながります。

_/ _/ _/ _/ _/ 教えて省エネ! _/ _/ _/ _/ _/

質問がありましたので紹介・回答させていただきます。

Q：昨今の省エネムードの中、学内においては「エレベーター2基のうち1基を停止する」という取り組みがありました。1基とした場合は稼働率が上がるので、そのぶん省エネにならないのではないかと。の疑問があります。実際のところを教えてください。

A：エレベーターは、井戸のつるべのように利用者が乗る「かご」と「つり合いおもり」で重量のバランスをとり、「かご」と「つり合いおもり」が、エレベーター定員の約半分の時につりあうように設計されています。例えば、エレベーターがUP運転で走行している場合は利用者が少ない方が、DOWN運転で走行している場合は利用者が多い方が省エネ運転になります。仕様を決める時には、待ち時間が少なくなるように設計計算を行います。長くなりましたが、上記をふまえたうえでお答えします。

並列するエレベータ2台を備えるオフィスビル（6階建て、従業員数130人）に於いて、エレベータの運転台数を1台とした場合に電力消費量と利用者の待ち時間の変化は、

- ・電力消費量の削減量は0.7%
- ・総待ち時間は55分/日(53%)増加

となり、エネルギー削減量の割には利便性が大きく後退する結果です。
(財)電力中央研究所「エレベータの運転台数変更による省エネルギー効果と利用者便益の変化に関する定量的分析 - オフィスビルにおける事例検討 - 」平成18年7月。

しかし、利用者の少ない時間帯に停止することは、利便性への影響も少ないため、待機電力削減(停止エレベータの主電源を切った場合)にも有効です。

../../../../ リンク集 ../../../../

下記に、熊本大学のエネルギー事情を掲載しています。

http://www.kumamoto-u.ac.jp/private/jimu_section/sisetukanri/seibi/kumadaienejij0

下記に、冬季の省エネルギー推進行動目標を掲載しています。

http://www.kumamoto-u.ac.jp/private/jimu_section/sisetukanri/files/eco/h24mokuhyo3.pdf

[編集後記]

熊大省エネニュース第3号をお送りさせて頂きましたが如何でしたでしょうか。

熊本県が平成24年10月に策定した「熊本県総合エネルギー計画」によれば、新エネルギーの導入加速化、省エネルギーの推進強化、新たなエネルギー需給体勢の構築、エネルギー関連産業の振興を施策の4本柱として、国のエネルギー政策と連携しながら推進していくとしています。

(熊本県エネルギー政策課)

<http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/157/sougouenerugiikeikaku.html>

省エネルギー推進活動に関するご意見やご要望がありましたら、下記の問い合わせ先までお寄せ下さい。

本年は、熊大省エネニュースをご愛読頂き有難うございました。
来年は、より充実した情報を発信できるよう努めて参りますので、どうぞよろしく
お願いいたします。
心せわしい年の暮れ、何かとご多用とは存じますが、何卒お気をつけて年末をお過
ごし下さい。
来年が、皆様にとって良い年となりますよう、お祈り申し上げます。

発 行：施設・環境委員会

問い合わせ先：運営基盤管理部施設管理ユニット
エネルギー管理担当
[E-mail] sis-energy@jimu.kumamoto-u.ac.jp